

教育理念	学ぶ楽しさを知り、自ら学ぶ力と豊かな人間性を身につける
目標（テーマ）	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を再生して（学力回復教育）高校を卒業 学ぶ楽しさを体験する科学的授業で、生涯を学ぶ人に 目覚めよ！自分力。早期にやりたいことにチャレンジ 目標の実現をサポートする教育システムの提供

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	今後の改善方針
学校運営	教育課程	学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っており、その編成・実施の考え方について、教職員間で共有ができています。	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程は、標準モデル科目以外にも履修選択できるように構成されている。 新学習指導要領への理解を深めるため、グループ校3校の教科担当者によるカリキュラム検討委員会を設置し、実施に備えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の内容理解を深め、現在の教育的ニーズを理解しながら授業を展開していけるよう努める。
		教育目標	生徒の学力・体調面など、個々の状況に応じた支援・指導を行っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> スクーリングの実施方法をできる限り生徒の事情に合わせ柔軟に対応できる体制を取っている。 	
	教職員連携	組織運営	本部及び本校の校務分掌や主任体制などが適切に機能するなど、学校の運営・責任体制が整備されている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 組織運営や校務分掌、各主任及び主事体制が適切に運用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各部門会議を定期的実施していくとともに、各主任、主事が必要に応じて自発的に会議を開催する体制づくりを行い、意思統一を図っていく。
		教員・教科間連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築され、教育活動が行われている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に職員会議や部門会議（進路・生徒指導、事務職会議等）を開催し、情報共有、意見交換の場面設定が行われている。また今年度より3拠点間でオンラインでの職員会議を取り入れ、情報共有・意見交換を行っている。 	
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解及び連携がとれている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度からスクールカウンセラーを配置し、月に2日生徒や保護者との面談を実施し、日常生活や人間関係、進路等の相談を行っている。 	
		会議の有効性	職員会議・スクーリング会議などの共通認識・共通理解のもと、有効かつ効率的に機能している。	A		
	財務関係	学校設置会社の役員及び株式の状況	学校設置会社の役員及び株式の状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものである。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校設置会社の経営及び財務に関する状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものである。 	
		学校経営に必要な財務等の状況	学校に必要な財務等の状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものである。	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度からブロードメディア株式会社やその関連会社と経営統合したことに伴い、より安定した経営ができるようになった。 	
		高等学校等就学支援金	高等学校等就学支援金に係る事務を適切に執行している。	A	<ul style="list-style-type: none"> 就学支援金については、適正に執行されている。 	
	施設・設備	面接指導等を実施する施設及び設備	面接指導等を実施する施設が事業報告書に記載されている。面接指導等を実施した施設・設備が教育上、適切である。	A	<ul style="list-style-type: none"> 面接指導等は、教育特区域内の学校・サテライト施設（豊田駅前キャンパス）で行われている。サテライト施設（名古屋キャンパス）では、本校教職員による生徒指導（面接指導等以外）、進路指導等が適切に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携施設における役割（学習支援、課外活動等の内容）の更なる充実を図っていく。
		連携施設	連携施設が事業報告書に記載されている。連携施設では学習面、生活面の支援を行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> 課外活動等の内容について豊田、栄の2拠点での実施により内容の充実を図った。 	
	危機管理	役割分担	事故・事件・災害などに対する連携及び役割分担が明確になっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> 関係各所（警察・消防・学校医など）の連携はとれている。また事故、事件、災害時の校内体制も整っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を学校安全計画に位置付け、生徒が体験的に理解できるよう計画的に実践し、万が一の災害等に備える。
安全管理		学校内の安全点検管理及び諸活動が実施されている。	B			
危機管理対応状況		危機管理マニュアルに基づき、市役所、警察、消防と連携するなど、安全対策がとれている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 万が一の災害等に備え、教職員だけでなく、生徒も参加した避難訓練を計画し、実践した。 		
個人情報管理		生徒情報管理が適切に行われている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報管理については、毎年個人情報保護研修を行っている。引き続き情報漏洩防止の為、危機管理意識を高める研修を行ってきたい。 		
教育内容・支援	面接指導・添削指導等	スクーリング参加状況	年間スクーリング日程計画に基づいた参加促進を行う。	B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスにより6月までのスクーリングが後ろ倒しになり、余裕のないスケジュールでの実施となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な面接指導時間を確保するとともに、指導内容の一層の充実（創意工夫）を図る。 精神的、体力的に不安がある生徒への支援体制（生徒指導主事・保健主事を中心）を更に強化していく。 他校の授業見学を中心に情報収集をし、更なる楽しい授業の構築に努める。
		スクーリング内容（面接授業）	各科目担当者が創意工夫を行い、生徒の興味・関心・意欲が高められる授業を展開していく。	B	<ul style="list-style-type: none"> レポート提出率は、昨年度よりも高い状況であるが、卒業率の更なる向上を目指し、生徒のモチベーションを高める指導に研鑽を重ねる。 	
		レポート内容・添削	レポートが学習成果（興味・意欲・関心）につながる内容になっている。また、インターネットを活用した添削結果の遅延がないよう、計画的な業務を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> スクーリングの授業内容については、学ぶ楽しさ、発見する喜びを知ってもらうことを意識した面接指導を行っているが、生徒が主体的に参加できるような授業内容を構築する。 	
	情報発信	ネット回線の有効活用	生徒対象の「ルネ高マイページ」保護者対象の「保護者マイページ」やブログ、SNSでのタイムリーな情報提供を行っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ルネ高マイページにより、学校イベントなどの情報提供を行っている。また、学校行事の様子を発信する仕組み（教職員によるブログ、SNS）。動画による学校、教職員の様子の公開が好評である。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒、保護者のニーズに即した情報提供ができるよう対話を大切に、教職員間の情報共有に努める。
		個人に対する効果的な情報提供	「ルネ高マイページ」「ルネ高アプリ」にて、生徒個々の学習進捗確認ができ、保護者マイページからも同内容を確認できる。	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒及び保護者向け情報提供ツールとして、定期的な発行物「ルネキャン」、「レポート進捗状況案内」を発送、本年度から「ルネ高アプリ」の提供を開始した。 	
	情報教育	情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させる。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学習ツールとしてスマートフォン、タブレットを導入しており、情報機器、情報収集についての知識は身につけている。情報の対面授業では、SNS活用や携帯ゲームの危険性に関して重点をおきながら取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSから発展する事故や事件の可能性が高まっているため、引き続き特別活動や情報の授業等で発信し更に知識を高める必要がある。
情報モラル指導		情報発信・公開に伴う責任など情報モラルの教育に取り組む。	A			
生徒・進路・保健指導	生徒指導	指導方針の一貫性	指導方針に従い、生徒及び保護者の満足度（進級卒業・進路決定など）を高める。	B	<ul style="list-style-type: none"> スクーリング時では、生徒指導主事、保健主事を中心に教職員間で連携を取りながら対応できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に進路面談、生活相談が教員と生徒、保護者が対面式でコミュニケーションを取ることができる環境を更に整えていく。 引き続き保護者を含めた三者面談を計画的に実施していき、保護者との良好な関係を築いていく。
		教員の共通認識と研修	学校組織に基づき、生徒が安全に諸活動ができるよう共通認識にて運営していく。また、生徒の実態に応じたテーマにて、計画的な研修を実施していく。	A	<ul style="list-style-type: none"> 面談、三者面談を感染対策をしながら実施し、ニーズを汲み取るよう努めた。 	
		家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活を送れるよう支援していく。	B	<ul style="list-style-type: none"> 希望進路実現へ向け、外部との連携を図りつつ、組織的な体制づくりが課題である。 	
		いじめ等の問題行動の未然防止	すべての生徒が安心した学校生活を送れるよう、基本方針に基づき、いじめ対策委員会を設置する。	A	<ul style="list-style-type: none"> スクーリング参加時に各授業必ず教員を2名以上配置し、生徒の変化に気付き、未然防止に努めた。 	
	進路指導	キャリア教育について	キャリア教育（進路指導）に取組む体制が整備され、生徒の自立に向けた取組みが実践されている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 希望進路実現（進学・就職）に向け、定期的に面談（豊田・名古屋）を行う、弊校のみの大学、専門学校、就職説明会を行うなど進路指導に外部機関の協力を得ながら努めている。 今年度からキャリアカウンセラーと提携を始め、生徒の進路ニーズに応えられる体制を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者の進路意識が高められるよう教職員のスキルアップを図るとともに、進路指導部の内部構成を充実させ、適切な体制を構築していく。
		保健指導	健康の保持増進について	心身ともに健康であるための支援（定期連絡やスクーリング時における授業にて支援）	A	
その他	教職員研修	教職員の資質向上を図るため、計画的な研修を実施していく	B	<ul style="list-style-type: none"> 学校内研修を実施だけでなく、他校、他業種との交流を持ち、教員の資質向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 全日制高校の授業見学など積極的に外部との交流・研修の機会を持ち資質向上を図る。 	
	学校関係者評価	計画的に実施し、教育の質の向上や学校運営の改善に向け、計画的、継続的に取り組み、開かれた学校づくりを進めていく。	C	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は1回学校関係者評価を実施し、現状の把握を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 学校関係者への学校評価の場を整え、質を高められるよう努める。
	他校及び関係機関との連携	姉妹校や自治地区、他校との交流をもち、開かれた学校づくりを行っていく。	C	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は新型コロナウイルス感染対策の為、学校外の教育関係者との関わりを持つことがほとんどできなかった。 		

校長 教頭 事務長